

第14週の発生動向 (2008/3/31~2008/4/6)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において第45週から、むつ保健所管内では、第48週から**警報**が続いています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、東地方+青森市保健所管内において第8週から、弘前保健所管内では第10週から**警報**が続いています。

第14週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	
(85) インフルエンザ	5	0.36											5	0.08	-8	1	0.50	4	0.33	
(74) RSウイルス感染症	1	0.11											1	0.02	-4			1	0.13	
(75) 咽頭結膜熱	6	0.67	5	0.56					9	1.50	3	0.75	23	0.55	2			6	0.75	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	3.89	20	2.22	9	1.00	1	0.20	7	1.17	2	0.50	74	1.76	-13			35	4.38	
(77) 感染性胃腸炎	52	5.78	57	6.33	24	2.67	21	4.20	26	4.33	31	7.75	211	5.02	63	5	5.00	47	5.88	
(78) 水痘	29	3.22	20	2.22	5	0.56	10	2.00	13	2.17	1	0.25	78	1.86	30			29	3.63	
(79) 手足口病			3	0.33							1	0.25	4	0.10	-4					
(80) 伝染性紅斑			1	0.11	6	0.67			2	0.33			9	0.21	6					
(81) 突発性発しん	2	0.22	6	0.67			1	0.20	4	0.67	5	1.25	18	0.43	-2	1	1.00	1	0.13	
(82) 百日咳					3	0.33							3	0.07	3					
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0				
(83) ヘルパンギーナ					1	0.11							1	0.02	1					
(73) 麻しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0				
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.11					1	0.20	2	0.33			4	0.10	1			1	0.13	
(86) 急性出血性結膜炎															0					
(87) 流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.09	-7					
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					1	1.00	5	0.83	1					

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (小児科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

は警報
  は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、八戸1人、青森市1人

(20年計:91人)

(73) 麻しん(五類全数把握疾患): 上十三1人

(20年計:41人)

感染症の窓

インフルエンザ 07-08 シーズン

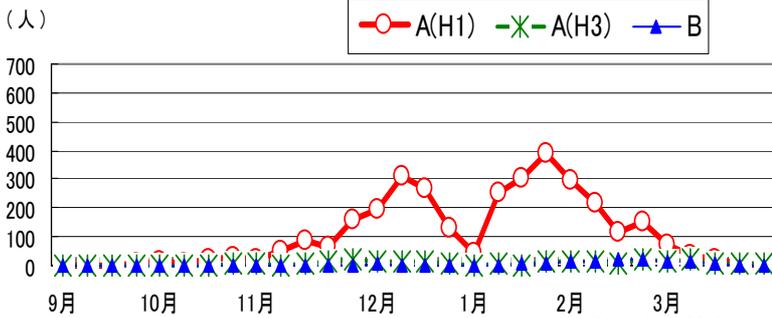


図1 全国におけるインフルエンザウイルス分離・検出情報

全国における 2007-2008 年シーズンのインフルエンザウイルスの型別検出報告数は、AH1 が 3,280 株、AH3 が 236 株、B 型が 141 株の順になっています (IDWR 病原体検出情報: 2008/4/7) (図1)。青森県内医療機関からの迅速診断キットによる型別では、A 型が最も多く報告されています (図2)。青森県環境保健センターにおいて、分離培養ができた 31 株は、全て AH1 型でした。

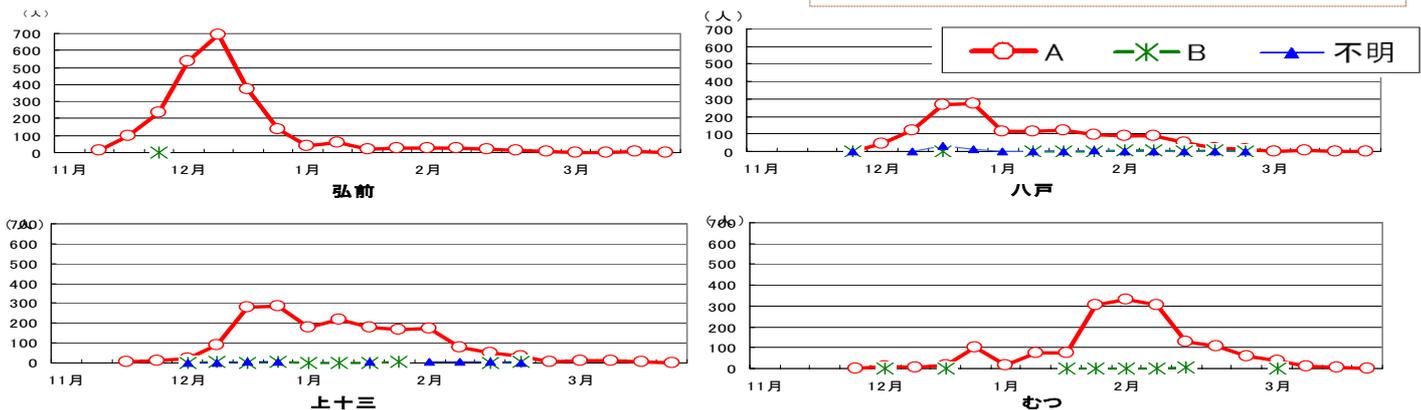


図2 青森県における迅速診断キットによる四保健所管内検出情報 (4月6日現在)